

アフリカ開発銀行が発行する「フィード・アフリカ・ボンド」への投資について

～100 百万米ドルの投資を通じて、アフリカにおける食料増産の課題解決に貢献～



農林中央金庫(以下「当金庫」)は、アフリカ開発銀行(正式名称:African Development Bank)が発行するテーマ型債券「フィード・アフリカ・ボンド」(以下「本債券」)へ総額 100 百万米ドルの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

アフリカ開発銀行は、アフリカ域内加盟国の経済成長と社会的発展に貢献するために設立された機関で、貧困の削減、生活水準の向上、アフリカの経済・社会開発に向けた資金調達を使命としています。2015年には、「アフリカの電化」・「食料増産」・「工業化」・「地域統合」・「生活の質向上」を5つの最優先分野とする政策である「High 5s(ハイファイブス)」を打ち出し、各分野へのファイナンスを目的とした5つのテーマ債を発行しています。このうち、本債券は「食料増産」を重要テーマとしています。

アフリカでは2020年の栄養不足蔓延率が人口の21%となっており、約5人に1人が飢餓・栄養不足状態に陥っていると考えられます¹。さらに、アフリカにおいて農業従事者は労働人口の60%以上を占めていますが、生産性が低いこと等を理由に大規模な農業地域を中心として貧困率の高止まりが顕著となっています²。こうした問題に対処していくため、アフリカにおいては農業分野の変革に対応し、食料増産を図っていくことが課題となっています。本債券により調達した資金は、これらの諸課題の解決に資するプロジェクトに利用されます。

当金庫は、2021年に「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパス(存在意義)として決めました。農林水産業を支える協同組織の一員として、自らのビジネスが、農林水産業の営みによる「いのち」や自然の循環とともにあることを認識したうえで、環境・社会課題の解決を通じ、農林水産業を含む社会、そして当金庫の事業活動が持続可能なものとなるよう、SDGsの実現をはじめとしたサステナブル経営を推進しています。

また、このパーパス実現に向けて策定した当金庫の中長期目標では、2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を10兆円とする目標を掲げており、持続可能な環境・社会や農林水産業につながる投融資を実践していくこととしています。本債券への投資を通じアフリカ開発銀行の取組みを投資家の立場からサポートし、その進捗状況を継続的にフォローすることで、アフリカにおける食料増産に貢献することを目指します。

当金庫は、目指す姿である「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」の実現に向けて、今後も様々な環境・社会課題の解決に貢献する投資に取り組んでまいります。

*1 出典：<https://ja.wfp.org/news/un-report-pandemic-year-marked-spike-world-hunger>

*2 出典：https://afdb-org.jp/wp-content/uploads/2018/04/Feed-Africa_JP.pdf

【本債券の発行概要】

発行体	アフリカ開発銀行(長期債務格付:S&P“AAA”、Moody's“Aaa”)
発行額	総額 100 百万米ドル (約 139 億円)
期間	7 年

【参考事例】チュニジアにおける灌漑農業改善プロジェクト

チュニジアの灌漑農業地域を対象に、作付け技術の改善、農産物の品質、収穫量の向上を支援します。本プロジェクトを通じて農業生産性を向上するとともに、水の効率的な使用や、9,000 ヘクタールを超える灌漑地域の修復も期待できます。

リンク(英文): <https://projectsportal.afdb.org/dataportal/VProject/show/P-TN-AAB-001?cur=ua>

*上記の参考事例については、本資金の活用事例にかかる紹介のみを目的としています。本債券で調達された資金の活用が、上記プロジェクトまたはその分野に限定されるものではありません。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班(宮澤、水元)
TEL:03-6362-7172